

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年9月20日 (木)

NO. 894号

本号3頁

戦争法強行から3年

戦争法廃止・安倍9条改憲阻止を目指して4800人

戦争法の強行採決から3年目の19日、東京日比谷野外音楽堂で総がかり行動実行委員会などが「戦争法から3年、安倍9条改憲NO！沖縄・辺野古新基地建設阻止！9・19日比谷野音集会」を開催しました。会場には入りきれず、外でデモ参加のため待つ人を含め、4800人が参加しました。

主催者あいさつした高田健さんは、「戦争法は絶対廃止しかない」と強調し、安倍首相が臨時国会での改憲発議を狙っているもついで「市民と野党が一緒になって、改憲策動を許さないたたかいを広げていこう」と呼びかけ、さらに、「沖縄県知事選挙での玉城デニー氏の勝利のために連帯して行こう」と訴えました。



集会には、無所属の会の大串博志幹事長、国民民主党の小宮山泰子衆院議員、日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、社民党の吉川元幹事長らが参加しました。日本共産党の小池氏は「戦争法強行は平和を危険にさらしただけでなく、底なしの政治モラルの崩壊をもたらした。市民と野党の本気の共闘で、安倍政権を倒そう」「当面のたたかいは沖縄県知事選挙です。安倍官邸対『オール沖縄』の玉城デニー候補のたたかいで、辺野古新基地建設を許すのかどうか争点です。必ず勝ち抜こう」と呼びかけました。また、先日の市民連合の新宿駅街宣に続き参加した国民民主党。その小宮山氏は、「3年前の強行等で破壊された日本の民主主義、議会制を取り戻すのは国民の力だ。沖縄知事選挙勝利のために、電話での訴えなどががんばろう」と訴えました。福山氏は、「日本の立憲主義を取り戻す。ともにたたかいを続けたいといけな



正念場が沖縄だ。何としてもこの国にまともな政治を取り戻す。その思いは野党と市民と共有している」と強調しました。

それぞれのスピーチの後、各党の代表はステージの上で揃って手をつなぎ、会場の参加者とともに「結束してがんばろう」とアピールしました。

その後の連帯あいさつでは、安保法制に反対する学者の会の上野千鶴子さん、「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の青木初子さん、沖縄から山城博治さんが登場し、スピーチしました。

参加者は集会後、銀座に向けてデモ行進し、市民に「戦争法廃止せよ！」「安倍9条改憲反対！」「辺野古埋め立て許さな！」等と訴えました。

一切の敵対行為の中止、核・ミサイル施設廃棄も明記

「共同宣言」

3度目の南北首脳会談

平壤で金正恩国務委員長と韓国の文在寅大統領の会談が19日行われ、二人は朝鮮半島の非核化に向けたミサイル実験場の永久的廃棄などを盛り込んだ「9月平壤共同宣言」に署名しました。同行した国防担当相が署名した「軍事分野合意書」では南北間の敵対行為の中止、軍事的緊張緩和の具体的な方策が盛り込まれました。今回の合意文書は、休戦状態だった朝鮮戦争の実質的な終戦宣言とも受け取れる内容となっています。

共同宣言は、「朝鮮半島を核兵器と核脅威がない平和の地にしていくべきであり、このために必要な実質的な進展を速やかに成し遂げるべきだ」ということで認識を共にした」と、両首脳は朝鮮半島の非核化に向けた意志を示しました。

共同宣言の中で、北朝鮮側は「東倉里エンジン実験場とミサイル発射台を関係国の専門家の立ち会いの下にまず永久的に廃棄する」とし、米国が6月の米朝共同声明の精神に沿って相応の措置を取るならば「寧辺核施設の永久的廃棄のような追加的措置」を取るとも表明しました。

また共同宣言の付属合意書として、韓国の宋永武（ソンヨンム）国防相と北朝鮮の努光鉄（ノグアンチョル）人民武力相が、「歴史的な『板門店宣言』の履行のための軍事分野合意書」に署名しました。合意書は「朝鮮半島全域での実質的な戦争脅威の除去と、根本的な敵対関係解消につなげるため、非武装地帯などでの軍事的敵対関係の終息を目指す」と表明。具体的に、非武装地帯内の相互1キロ以内にある監視所を完全に撤収することや板門店共同警備区域を非武装化することなどとし、「共同宣言」では「合意書」の徹底的な順守をうたいました。

共同宣言には、金氏が北朝鮮の最高指導者として初めて近くソウルを訪問する合意も盛り込まれています。

署名後、共同記者会見に臨んだ文氏は、「南北が初めて非核化の方策について合意した。朝鮮半島の非核化もそう遠くない」との認識を表明。さらに「これからも米国など、国際社会と緊密に協力していくつもりだ。私たちの役割も重くなった。国民の信頼と支持が、いつにも増して切実だ」と語りました。

一方、金氏は「民族的な和解と平和繁栄の新しい時代をつくるために、いまある問題を、心を開いて議論した」と会談を振り返り、「数十年の間続いてきた対決と敵対の歴史を終えるための軍事分野の合意書を採択し、朝鮮半島を核兵器も核脅威もない平和の地にしていくために、積極的に努力していくことを確約した」と語りました。

各地で沖縄連帯集会

長野 美しい沖縄の海に基地はいらない

上田市で15日、沖縄連帯集会が開催され、雨の中でも参加者が増え、150人が集まりました。市民団体や政党などが呼びかけ、実行委員会が主催しました。

集会は、沖縄連帯の思いをラップ調で表現したパフォーマンスでスタート。大村忠嗣さんが主催者あいさつした後、参加者から「民主主義と地方自治の問題だ」「辺野古に基地はいらない」などのスピーチが続きました。中学生と小学生の兄弟も思いを語りました。また、信州沖縄塾の伊波敏男さんが報告しました。

野党の連帯スピーチで、日本共産党のながせ由希子県書記長が選挙ボランティアに駆けつけた経験を紹介し、「沖縄の未来がかかっている選挙。共に新しい時代を切り拓こう」と語りました。社民党長野県連合を代表して石倉裕太さんがスピーチ。野党国会議員のメッセージが紹介されました。

参加者はジュゴン形のカードに「沖縄の心ひとつに！私も一緒に声をあげます」「沖縄の美しい海に基地はいらない。デニーさんガンバレ」「世界は平和に向かっている。軍事基地はいらない」などメッセージを書き、そのカード80枚以上を貼ったメッセージボードが出来上がりました。近日、沖縄に届ける予定です。



高知 「民主主義が花開く選挙にしよう」と訴え

高知憲法アクションと高知革新懇は15日、高知市で「翁長知事追悼・辺野古新基地反対・知事選勝利 沖縄連帯集会」を開き、約230人が参加しました。

3氏が特別報告し、米軍基地問題を中心に沖縄の問題を考える学生グループ「はしんちゅ」の藤原代表は「政府の圧力に屈せずに子どもや孫に平和な沖縄を残したいという姿勢を貫いた翁長知事が沖縄の人に与えた勇気は私たちの中にとり続け、行動していく原動力」と述べました。同アクションの呼びかけ人の山崎秀一氏は日本全土で米軍機の低空飛行訓練が行われるなど全国の沖縄化が進んでいると、新基地反対の世論を広げることがを強調。年金者組合県本部の小橋則通委員長は沖縄の知人、友人に電話をかけることを呼びかけ、「民主主義が花開く選挙にしよう」と訴えました。

参加した女性は「みんなと一緒に気を引き締めて新基地建設に反対し、県知事選の支援にがんばっていきたい」と話しました。

滋賀 「オール沖縄」の玉城デニー候補の必勝をめざす集会

「沖縄知事選挙勝利をめざす辺野古新基地建設の断念を求める滋賀県民の会」は13日、大津市のJR石山駅前で「オール沖縄」の玉城デニー候補の必勝をめざす集会を開き、約50人が参加しました。

竹腰代表は「沖縄に友人・知人がいる人は、玉城デニーさんの支持を広げてください」と訴えました。8日まで沖縄に支援に入っていた「辺野古新基地建設ストップ滋賀の会」の高田直樹氏は「現地への支援がいま必要です。私たち自身の課題として沖縄県知事選勝利を」と力を込め、「県民の会」事務局の木村義二氏は「沖縄に駆けつけるという方がいればご協力を」と呼びかけました。



日本共産党の節木三千代県議、きのせ明子県議候補、滋賀大学元副学長の近藤学氏がリレートークで訴えました。節木氏は「日本共産党は、玉城デニーさんの勝利のために全力を挙げます」と力を込めました。

故翁長知事の妻・樹子さんのインタビューDVDが上映されました。

各地のとらきみ

群馬 「戦争への道は許さない9.15群馬大集会」に800人

市民と野党の共闘をさらに発展させ、憲法改悪を阻止しようと15日、「戦争への道は許さない9.15群馬大集会」が高崎市内で開催され、800人が参加しました。今年2月に結成された「安倍9条改憲NO！群馬県民アクション実行委員会」が主催しました。

同実行委員会の角田義一共同代表（元参院副議長）は「朝鮮半島の平和の激動を受け、安保体制を根本的に見直すべきだ」と強調。「沖縄県知事選の勝利とともに、憲法改悪を狙う安倍政権を退陣に追い込もう」と訴えました。

「戦争させない・9条を壊すな！総がかり行動実行委員会」の藤本泰成氏の訴えに続き、野党4党の代表があいさつ。日本共産党の梅村さえこ参院比例区候補は「辺野古新基地建設阻止に命をかけてたたかった翁長さんの後継者である玉城デニー候補の勝利へ、全国から総力を結集しよう。安倍政権打倒ののろしを群馬からあげよう」と訴えました。



立憲民主党の長谷川嘉一衆院議員、国民民主党の後藤克己県議、社会民主党の小林人志県連合代表がそれぞれ発言しました。

安保法制違憲訴訟原告団の田村照代さんは3000万人署名を集めきる決意を表明。「ぐんま市民連合へいわの風」の大川久美子共同代表は、改憲を阻止するため、野党共闘のさらなる前進を呼びかけました。

集会後、参加者は高崎市中心部をデモ行進しました。